

5 ノートリア <げっ(齧)歯目、ノートリア科、ノートリア属>

和名：ノートリア

英名：Nutria, Coypu

学名：*Myocaster coypu* (Molina,1782)



【ノートリア】

(財) 東京動物園協会提供

(1) 動物の特徴と同定

分布：南ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ボリビア、アルゼンチン、チリー

特徴：体色は茶色、赤みを帯びた黒色、上毛は粗いが灰色の下毛は柔らかく上質とされる。

尾は円筒状でネズミの尾に似る。後肢（後肢長 11～15cm）には水かきがある。門歯は一生伸び続け、黄色をしている、乳頭は腹部より上部に位置する。

体長：43～63cm

尾長：22～42cm

体重：3.5～5.8kg

習性等：

- ・水辺に番、あるいはメスを中心とした小さな群れを作り、主に夜間活動する。ホテイアオイ等の水生植物のほか、淡水産の巻貝等を食すが、農作物にも食害を及ぼす。
- ・周年繁殖が見られるが、春と秋に出産が多く見られる。妊娠期間は123～150日で1産2～11頭、平均5頭前後で新生仔の体重は225g程である。
- ・寿命は10年くらいとされている。
- ・アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ポーランド、ドイツ、小アジア、コーカサス、ロシア等で移入した個体が野生化しているが、イギリスでは全てのノートリアが駆除されたと言われる。
- ・我が国には毛皮を得る目的で1939年に輸入された記録があり、その後、需要の減少に伴い、逃げ出した個体が野生化し、岡山県、京都府、兵庫県、愛知県、三重県、岐阜県、香川県等でみられている。

- ・繁殖が旺盛で、アメリカ、ルイジアナ州の例では1932年20頭の個体から1962年には推定200万頭に増えたとされており、我が国においても上記以外の都府県においても捕獲例があり、増加が予想される。

(2) 保定とマイクロチップの埋込み

ア 保定の方法

A 器具を使用しない保定法

鋭い切歯を持っているため、素手では扱わない。

B 器具を使用した保定法

玉網を用いて捕獲する。網の上から革手袋をした親指と人指し指で頭をしっかりとつかみ、動けないように保定する。もう一方の手で四肢をしっかりとつかみ横臥姿勢で保定する。

C 特に注意すべき事項

マイクロチップの埋込み可能時期は離乳後（生後2ヶ月）を目安とする。

麻酔薬は、筋肉内に投与できる薬を選択する。ケタミン20～100mg/kg 筋注 + ジアゼパム 2～8mg/kg 筋注、ケタミン40～100mg/kg 筋注 + メドトミジン 0.25～1.0mg/kg 筋注などの組み合わせで不動化効果が得られる。

ケタミンのみの投与では十分な無痛効果は期待できないが、鎮静剤を併用することで、軽い外科麻酔と筋弛緩が得られる。

化学的保定を行う場合は体温低下に注意し、動物を保温パッド上に置くなどの体温管理が必要となる。麻酔中の管理は、呼吸数、体温、心拍数をモニターするなど定法に従う。体温低下に注意する。覚醒期は周囲の温度を20～25℃に保つ。

イ マイクロチップ埋込みの方法

A 埋込みの部位

左右の肩甲骨間皮下に埋込む。

B マイクロチップ埋込みの実際

玉網に入れたままマイクロチップを埋込むときは、床上で、頭の付け根をしっかりと持って横臥姿勢とし、網の目から注入器の針を上記皮下に刺入する。診療台に乗せることができるなら、頭の付け根をつかみ横臥姿勢とし、注入器の針を刺入する。

刺入部位はイソジン綿か70%アルコール綿で消毒し、マイクロチップ埋込み後は、刺入部に外科用接着剤を塗布してマイクロチップの脱落を防止する。